

天然ガス等利用設備資金に係る利子補給金

令和3年度概算要求額 4.1億円（5.2億円）

事業の内容

事業目的・概要

- パイプライン等のガスインフラについては、天然ガスの安定的な供給、競争的な市場環境の整備、天然ガスの利用拡大による環境負荷の低減、緊急時の強靱性の向上等の観点から、整備を促進していくことが重要となっています。
- 本事業は、天然ガスの安定的な調達に必要な設備投資等に対する地方都市ガス事業者の負担軽減のための利子補給を行います。

成果目標

- 平成22年度から令和12年度までの事業であり、競争的な市場環境の整備によるガス利用者の利益増進を図るため、ガス導管の敷設距離について、令和3年度までに累積約27万3千km、事業終了の令和12年度までに累積約29万kmを目指します。
- また、天然ガスへの燃料転換による環境負荷の低減を図るため、令和3年度までに約410億 m^3 、事業終了の令和12年度までに約470億 m^3 のガス販売量を目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

対象設備

目標達成のために効果的な投資であって、以下の設備に対するもの。

1. 都市ガス事業者（大手3社を除く）に天然ガスを供給するための設備
 - (1) 天然ガス出荷基地設備（LNG基地等）
 - (2) 天然ガス輸送設備（パイプライン等）
2. 都市ガス事業者（大手3社を除く）が天然ガスを受け入れるために必要な設備
 - (1) 天然ガス受入基地設備（サテライト基地等）
 - (2) 天然ガス輸送設備（パイプライン等）



LNG基地



サテライト基地



パイプライン